Vol.21 定番のダブルストップ・フレーズを弾いてみる

では、vol21、始めていきましょう。

今回は、おそらく、ギターを続けていればどこかで弾くことになるであろう、ダブルストップの定番フレーズをやっていきます。

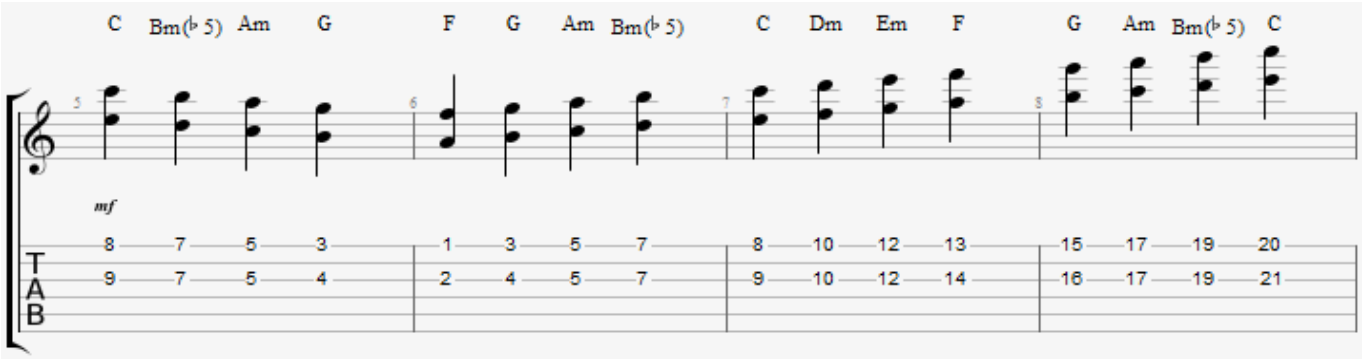
特に、ブルースやカントリー、もしくはその辺りがルーツになっている楽曲などで頻繁に出てくるものです。

もしかしたらすでに知っているかもしれませんが、ここで改めてマスターしておきましょう。

内容としては、各ダイアトニックコードの 1 度(root)と 3 度(M3rd or m3rd)の組合せですね。

キーはいつもの様に C キーで。
それでは、譜例は以下になります。

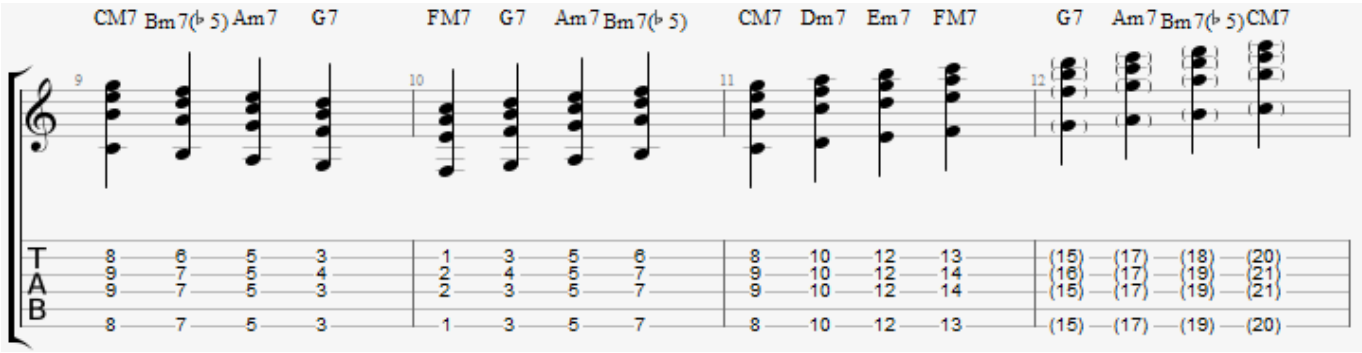
譜例 1



ちょっと見方に戸惑うかもしれませんが、1 弦側の音を root、3 弦側の音を 3rd と見ます。

通常、低い音を root に想定することが多いですが、この譜例の元になっているのは以下の様なコード・ヴォイシングです。

譜例 2



Copyright (C) 2016 shunichi onuma All Rights Reserved

(※ハイポジションのカッコで囲ってあるコードは、便宜上載せたものなので、弾かなくても構いません)

この譜例 2 の、6 弦の音をルートと見ているけれども、譜例 1 では鳴らしていないわけですね。

こう言った、実際に想定しているコードの一部分を抜き取った様な見方も出来るようにしておきましょう。

少し前にやった、アルペジオのポジション内でダブルストップを弾いた時の内容も、コードよりの発想で見る場合はこれに近いものですね。

後、譜例 2 は 4 和音のヴォイシングにしてありますが、トライアドでも弾いてみて下さい。どちらかと言えば、トライアドの方が譜例 1 の響きに近くなるでしょう。

では今回は以上になります。

ありがとうございました。

大沼

Copyright (C) 2016 shunichi onuma All Rights Reserved